

高齢者運轉免許證更新

赤谷慶子

吾にとり本年は運轉免許證更新の年なり。後期高齢者になりて初めての更新なり。三年前の更新時コロナ禍に教習所の高齢者講義は全て中止となり、更新に必須なる講義を受くる手筈調てびょうはざりき。警視廳は免許證更新を三カ月延期せむとの方針打ちだしき。近隣の警察署へ赴きて免許證の延長を申請し、ともかくも臯月に講義と實車にこぎつけき。實車も常は三十分の所濃厚接觸になるため一人十分と短縮せられたり。

此度はさる難義踏まへ、警視廳より更新手続きを百九十日前より始めむとのお達しあり、睦月には免許更新の手筈を始むべしとの由。先づは鮫洲運轉免許試驗場にて「認知症」検査試験を受くる事明記せらる。電話は絶えて通じねばスマホを使ひて電網にて豫約せり。十八日に鮫洲へ赴きけり。驚愕したるは三十人ほどの受講生の三分の一はすこぶる高齢の男性なりしの儀。會話を小耳にはさめば、八十後半かと察せらる。かかる高齢にて免許更新せむとの意欲に驚愕せり。いらつめはおのれ含め三人のみ。試験は十六枚の繪を一枚づつ見せられ、記憶せしめむとのテストなり。次に一枚の紙に二十行ほど數字ならべると、教官の指示によりて特定の數字に斜線を引けとの課題なり。早々に仕上げねば、「えい、止め」との號令かかる。次は同じ紙上に三つの數字に斜線を引くといふものなり。終はると次は先程教官の隣の畫面に移しいだされし「繪」すべての名を書くといふ試みなり。數字に集中したれば、露の間たちろげど、十六枚中二つばかりえ思ひ出さざりき。ついでその繪のヒントの書きたる紙に記憶ありし繪の名稱書き込むといふものなりき。ほぼ満點なれば、青き紙に合格と明記せるもの受け取りて検査をはりとなりき。ついで二時間講義と實車試験をいづれかの教習所にて受くる要あり。此の豫約の取る作業難儀なり。限られたる教習所にあまた押し寄する譯なればせむかたなし。歸り際、教官に近隣ならず、予約を取るを得む教習所に早々と申し込まずば遅れを取るべしと声をかけられたり。一覽を見ると豫約を入るを得る日時明記しあり、弥生、卯月、臯月にあらざれば受附不可なるが多し。睦月に豫約を入るを得る三箇所あれば、新小岩の教習所に豫約受入日の前日、日曜日なれど夕方電話をいるれば通じ、翌日より受附開始との由なれど特別扱ひにて受附けらるるを得たり。如月上旬に二時間講義と實車を受くるを得て安堵せり。この手筈終はらば、生まれ月の水無月前月に鮫洲運轉免許試驗場へ赴き、免許の更新終はる。

(令和五年一月二十八日受附)

